

東日本大震災 被災地における教育状況調査(ニーズマッピング)

中間報告 Vol.2

基礎調査

2012年1月

公益社団法人 日本フィランソロピー協会

目次

I . 岩手県大槌町(2p－14p)

II . 福島県相馬市(15p－28p)

I. 岩手県大槌町

基礎情報

- 以下の項目について、基礎的な情報として報告する

①人口分布、地理

- 人口分布、広域地図

②産業構造

- 産業別従業員数、平均年収、雇用の状況

③被災状況

- 死亡者数、行方不明者数、避難者数
- 住宅被害数、浸水エリア、被災率、避難所数

④行政

- 行政の取り組み

⑤教育状況

- 学校数、生徒数、教員数、仮設学校の位置、通学バスの状況、課外活動

⑥支援状況

- 教育系支援団体の活動状況

①人口分布・地理

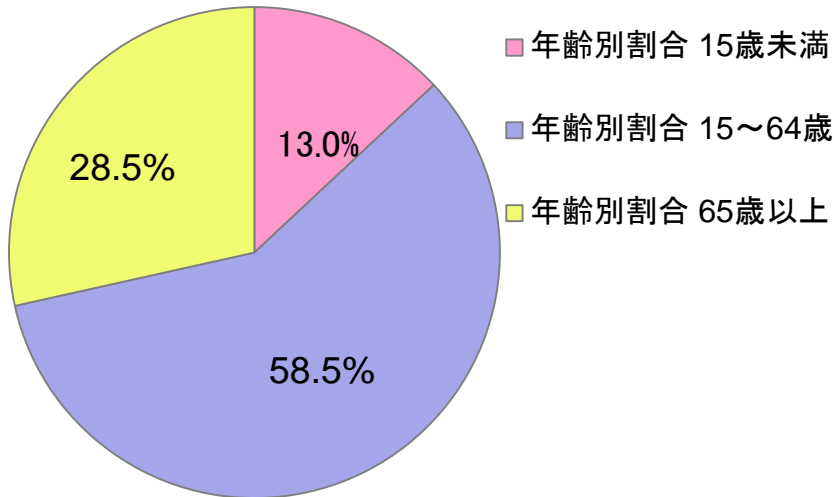
- 年齢別割合をみると、全国平均に比べ、高齢化が目立つ
(65歳以上の人口の割合が、全国平均が20.1%に対し、大槌は28.5%)

人口分布(平成22年)※1

人口:15,277人

年齢別人口、割合(平成17年)

人口(全体)	15歳未満人口	15~64歳人口	65歳以上人口
16,516	2,154	9,657	4,705



大槌町広域地図※2

国土地理院承認 平14総複 第143号



資料:国勢調査平成22年度版(※1)

資料:国土地理院データを参照(※2)

②産業構造(1/2)

- 大槌町の第1次産業別従業者数は、全国平均に比べて、3.84と高い水準にある
- 平均年収は、岩手県平均に比べ、50万円ほど少ない

産業大分類別従業者数(震災前:平成21年)※1

	第1次産業 従業者数	第2次産業 従業者数	第3次産業 従業者数
従業者数(数)	126	1,812	3,378
割合(大槌)	0.02	0.34	0.64
割合(全国)	0.01	0.23	0.77
特化係数 (大槌/全国)	3.84	1.51	0.83

雇用関連データ(震災前:平成20年度)※2

- 平均年収: 174万円
(一人当たり市町村所得)
- 岩手県市町村平均
平均年収: 226万円
(一人当たり市町村所得)

資料:統計局「東日本太平洋岸地域のデータ及び被災関係データ～「社会・人口統計体系(統計でみる都道府県・市区町村)」より～」(※1)

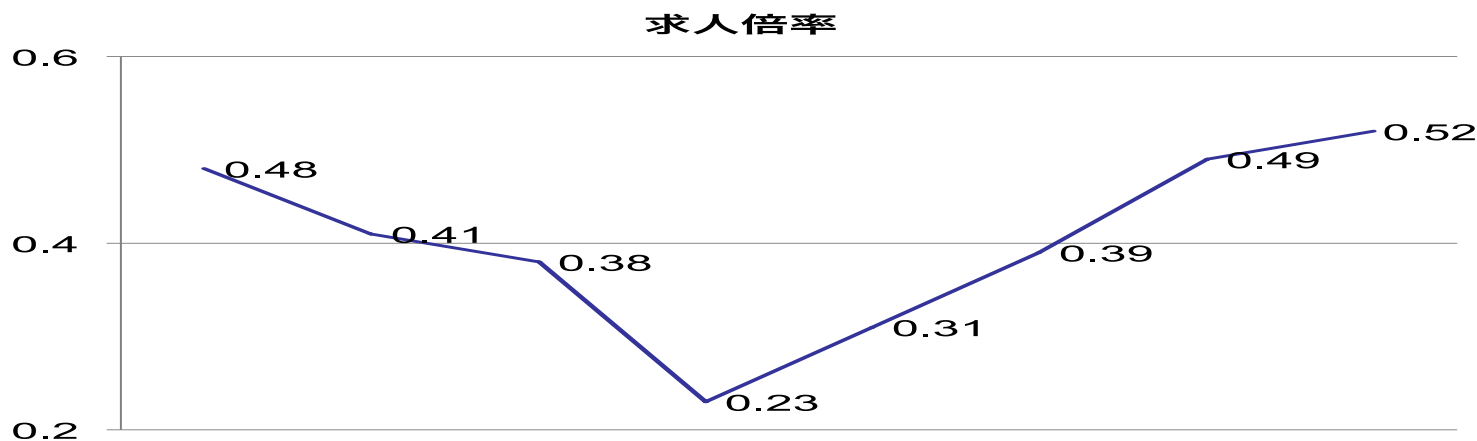
資料:「平成20年度岩手県の市町村民所得推計の概要」(※2)

②産業構造(2/2)

- 求人倍率は、震災前からあまり高い地域ではなかったが、震災を機に更に低迷していた
- 現在は、回復傾向にあり、震災前の水準に戻りつつある
- 高卒への求人企業数／求人数は、管内／県内からは減少しているが、県外からは被災者優先求人の影響もあり増加している

雇用関連データ

- 求人倍率: 0.52 倍
(釜石安定所※含:大槌町)



- 岩手県求人倍率: 0.57 倍 (平成23年8月)
- 全国求人倍率: 0.66 倍 (平成23年8月)

資料:岩手労働局「一般職業状況(7月分)」(8月30日時点)

③被害状況(1/2)

- 大槌町は、死亡者と行方不明者を合わせると、人口の1割近くにのぼった
- 同町は、一時最大44カ所で5,744人が避難所生活を送ったが、8月11日には、避難所はすべて閉鎖された

人的被害(下段は対震災前人口比を示す)

	大槌町	陸前高田市	石巻市	気仙沼市
死亡者数	801人 ※2011/9/9時点	1,552人 ※2011/9/9時点	3,166人 ※2011/9/9時点	1,013人 ※2011/9/9時点
	(5.24%)	(6.66%)	(1.97%)	(1.37%)
行方不明者数	596人 ※2011/9/9時点	399人 ※2011/9/9時点	793人 ※2011/9/9時点	392人 ※2011/9/9時点
	(3.90%)	(1.71%)	(0.49%)	(0.53%)
避難者数	0人 ※2011/8/12時点	0人 ※2011/8/14時点	0人 ※2011/10/11時点	263人 ※2011/9/28時点
	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.36%)

資料: 死亡者数/行方不明者数: 統計局「東日本太平洋岸地域のデータ及び被災関係データ ~「社会・人口統計体系(統計でみる都道府県・市区町村)」より~」
 避難者数: 大槌町岩手日報記事(8月12日)、陸前高田市HP「陸前高田市の被害状況について」(8月14日時点)
 宮城震災被害情報HP「地震被害等及び避難状況」(9月28日時点)

③被害状況(2/2)

- 津波による浸水範囲は、世帯ベースで8割を超え、甚大な被害を被った
建物被害

	大槌町	陸前高田市	石巻市	気仙沼市
住宅被害数 (全壊住家数)	3,084 棟 ※2011/9/9時点	3,159 棟 ※2011/9/9時点	19,360 棟 ※2011/9/9時点	8,536 棟 ※2011/9/9時点
住宅被害数 (半壊住家数)	593棟 ※2011/9/9時点	182 棟 ※2011/9/9時点	3,949 棟 ※2011/9/9時点	2,405 棟 ※2011/9/9時点
住宅被害数 (一部破損住家数)	68棟 ※2011/9/9時点	27 棟 ※2011/9/9時点	9,466 棟 ※2011/9/9時点	3,488 棟 ※2011/9/9時点
浸水エリア	4 km ² ※2011/4/18時点	13 km ² ※2011/4/18時点	73 km ² ※2011/4/18時点	18 km ² ※2011/4/18時点
被災率 (浸水範囲概況の 割合)	78.0% (人口ベース) 81.3% (世帯ベース)	71.4% (人口ベース) 71.7% (世帯ベース)	69.9% (人口ベース) 72.9% (世帯ベース)	54.9% (人口ベース) 54.9% (世帯ベース)
避難所数	0 箇所 ※2011/8/11時点	0 箇所 ※2011/8/14時点	50箇所 ※2011/9/14時点	14箇所 ※2011/9/28時点

資料：住宅関連：統計局「東日本太平洋岸地域のデータ及び被災関係データ ～「社会・人口統計体系(統計でみる都道府県・市区町村)」より～」

浸水率：統計局「浸水範囲概況にかかる人口・世帯数」(4月25日)

避難所数：岩手日報記事(8月12日)、陸前高田市HP「陸前高田市の被害状況について」8月14日時点

宮城震災被害情報HP「地震被害等及び避難状況」(9月28日時点)

④行政

- ・大槌町の復興計画は10月以降に作成予定である

行政の取組(大槌町役場関係者へのヒアリングより)

- ・町としての復興計画の立案は10月以降に取り組む予定である
- ・現在、土木調査系コンサルティングファームが、現状課題の洗い出しをしている
- ・具体的には産業の被害額の算定なども含めた被害状況の再調査であるとのこと
- ・春先に一度第一次調査を行ったが精度が甘い面があったので、今回再度調査することにしたとのこと
- ・町としては、緊急雇用支援事業として3億円程度の予算を持っている
- ・既に、学校支援として事務補助などを行う小学校の用務員さん等を採用した
- ・募集かけても想定よりも応募が少ない状況であるが、原因は把握しきれていない
- ・これから原因を把握し、対応していく予定である

資料:大槌町の教育状況調査委ヒアリング結果

⑤教育状況(1/4)

- ・ 教員数に大きな変化は見られないものの、学校によっては生徒数が減少している
- ・ その結果、教員一人あたりの担当生徒数は減少している学校もある

震災前後の教育状況

大項目	小項目	震災による影響(ヒアリングベース)
学校数	小学校	大槌小学校、大槌北小学校、安渡小学校、赤浜小学校、吉里吉里小学校の5校から変化はないが、吉里吉里小学校以外の4校は9月20日より仮設小学校にて同居し、1校となる
	中学校	大槌中学校、吉里吉里中学校の2校あり、大槌中学校の3年生が吉里吉里中学校に避難している。大槌中学校は9月22日より仮設中学校に移転
	高等学校	大槌高校1校のみで変化はなし (大槌中学校1、2年生が一部間借りしているが9月22日より仮設中学校に移転)
生徒・児童数	小学校	生徒数は減少している(大槌小学校では280名から206名程度へ)
	中学校	減少傾向ではあるが、大きな変化は見られない
	高等学校	生徒数に大きな変化は見られない
教員数	小学校	大きな変化は見られない (生徒の減少に伴い、先生一人あたりの生徒数は減少)
	中学校	大きな変化は見られないが一部の中学校で増員
	高等学校	大きな変化は見られない
	科目別	科目による大きな差異は発生していない

資料: 大槌町の教育状況調査委ヒアリング結果

⑤教育状況(2/4)

- 仮設学校の建設が終了し、小学校は9月20日、中学校は9月22日から授業を開始した
- 小学児童数は計444人、中学校の生徒数は291人の計735人で、震災前(計966人)から200人以上減少した

仮設学校の位置



仮設学校 1

- 小学校は、大槌小学校、大槌北小学校、赤浜小学校、安渡小学校が移転した
- 小学校は、同一校舎内にて、個別の教室に区切られ、授業を行う
- 中学校は、大槌中学校が移転した
- 体育館は共用で、小学校むけの学童も併設予定

資料: 国土地理院データを参照

⑤教育状況(3/4)

- 寺野仮設校舎へ通学するためのバスは、小学校10便、中学校4便を運行している

通学バス

児童生徒保護者の皆さま
平成23年9月14日

大槌町立 小学校スクールバスの運行について

仮設校舎の開校に伴い、運行路線が変更となりましたので、乗車時刻の確認をお願いいたします。またスクールバスは各学校からの利用申請に基づき、乗車場所、乗車人数によるバス台数を決定しています。利用の際は「スクールバス利用の手引」を守り、申請してある乗車場所以外の乗降等はしないようお願い致します。

小学校線 運行期間：9月20日(火) ~ 下校便 月・火・水・金 15:40 発
木 14:40 発

1号車

乗車時刻	乗車場所
7:00	大貫台バス停
7:05	高厚煎橋
7:10	戸保野
7:13	安藤口
7:16	小原商店前
7:18	金沢支所JA付近
7:21	対間
7:25	深渡
7:30	白根橋停留所
7:35	宮野口バス停
7:55	寺野仮設校舎 着

4号車

乗車時刻	乗車場所
7:45	大槌町仮設診療所付近
7:55	寺野仮設校舎 着

8号車

乗車時刻	乗車場所
7:35	赤浜小学校
7:50	寺野仮設校舎 着

5号車

乗車時刻	乗車場所
7:15	上長井バス停
7:35	下徳並バス停
7:40	一ノ瀬バス停
7:50	寺野仮設校舎 着

9号車

乗車時刻	乗車場所
7:35	沢山変留所付近
7:42	大ヶ口バス停
7:55	寺野仮設校舎 着

6号車

乗車時刻	乗車場所
7:40	小笠原商店
7:44	蔵打直停留所
7:45	清柳事業所
7:50	寺野仮設校舎 着

10号車

乗車時刻	乗車場所
7:40	大槌中学校前
7:41	佐々木商店前
7:55	寺野仮設校舎 着

2号車

乗車時刻	乗車場所
7:30	和野橋
7:33	恵水講橋
7:55	寺野仮設校舎 着

3号車

乗車時刻	乗車場所
7:10	巖岩
7:14	千田精密
7:17	榎内橋バス停
7:30	寺野仮設校舎 着

7号車

乗車時刻	乗車場所
7:35	惣川バス停
7:40	達山商店前
7:50	寺野仮設校舎 着

・小学校線4号車は、3号車終了後、同車種での運行となります。(下校時は、4号車終了後、3号車の運行となります。)

今後は、スクールバスの運行時刻変更、臨時便通知、遅延情報等を「いわてモバイルメール」でも提供を行います。これらの情報通知を希望される場合は、下記の手順で登録願います。

- ① <http://www.prof.iwate.jp/m/> に接続。案内に従い、登録手続きへ
- ② 新規登録の場合は、「サービスを始めよう」を、登録済みの方は「登録内容を変更する」を選択
- ③ 新規メール作成画面が立ち上がりますので、本文に何も記入せず空メール送信
- ④ 登録用メールを受信したら、メール画面のアドレスを選択
- ⑤ 「ジャンルの選択」→「お知らせ・募集」を選択。地域を「市町村から選ぶ」→【大槌町】を選択
- ⑥ コンテンツの選択：【お知らせ・募集】から【大槌町教育情報】を登録
- ⑦ 登録完了！

資料：大槌町災害復興室学務課HPより抜粋

生徒保護者の皆さま

平成23年9月14日

大槌町立 中学校スクールバスの運行について

仮設校舎の開校に伴い、運行路線が変更となりましたので、乗車時刻の確認をお願いいたします。またスクールバスは各学校からの利用申請に基づき、乗車場所、乗車人数によるバス台数を決定しています。利用の際は「スクールバス利用の手引」を守り、申請してある乗車場所以外の乗降等はしないようお願い致します。

中学校線 運行期間：9月22日(木) ~

下校便 22日 14:45 発

※下校便の発車時刻は、学校日程により変更がありますのでご了承ください。

22日(木)は特別時程となりますので、「22日対応」の乗車時刻での乗車をお願い致します。

1号車

乗車時刻	22日対応	乗車場所
7:10	8:10	中川原
7:20	8:20	戸保野
7:23	8:23	小原商店前
7:24	8:24	金沢支所JA付近
7:25	8:25	対間
7:27	8:27	上田商店前
7:30	8:30	深渡
7:33	8:33	馬場野
7:40	8:40	宮野口バス停
7:42	8:42	かみよ稲穂館
7:44	8:44	巖岩
7:45	8:45	尺丈
8:00	9:00	寺野仮設校舎 着

2号車

乗車時刻	22日対応	乗車場所
7:30	8:30	和野橋
7:35	8:35	恵水講橋
8:00	9:00	寺野仮設校舎 着

3号車

乗車時刻	22日対応	乗車場所
7:20	8:20	下徳並バス停
7:21	8:21	小笠原商店前
7:23	8:23	一ノ瀬バス停
7:27	8:27	蔵打直停留所
7:45	8:45	寺野仮設校舎 着

4号車

乗車時刻	22日対応	乗車場所
7:55	8:55	赤浜小学校
8:00	9:00	達山商店前
8:10	9:10	寺野仮設校舎 着

・中学校線4号車は、3号車終了後の運行となります。(下校時は、4号車終了後、3号車の運行となります。)

今後は、スクールバスの運行時刻変更、臨時便通知、遅延情報等を「いわてモバイルメール」でも提供を行います。これらの情報通知を希望される場合は、下記の手順で登録願います。

- ① <http://www.prof.iwate.jp/m/> に接続。案内に従い、登録手続きへ
- ② 新規登録の場合は、「サービスを始めよう」を、登録済みの方は「登録内容を変更する」を選択
- ③ 新規メール作成画面が立ち上がりますので、本文に何も記入せず空メール送信
- ④ 登録用メールを受信したら、メール画面のアドレスを選択
- ⑤ 「ジャンルの選択」→「お知らせ・募集」を選択。地域を「市町村から選ぶ」→【大槌町】を選択
- ⑥ コンテンツの選択：【お知らせ・募集】から【大槌町教育情報】を登録
- ⑦ 登録完了！

⑤教育状況(4/4)

- ・ 震災の影響で、グラウンドなど施設が使用できなかつたり、ボールなどの道具類が用意できなかつたりした
- ・ 外部からの支援などで、一部補充され、活動が再開できたところもある

主要な課外活動団体

活動分野	団体名	被害状況や震災後の活動状況	資料
野球	おおつち野球スポーツ少年団	・「大槌ジュニア」と「安渡タイガース」を統合。練習もグラウンドが仮設住宅などで占められてできていなかった。	朝日新聞ニュースサイト (平成23年5月30日)
サッカー	大槌サッカークラブ(SC)	・町内にあった別の3チームは震災後、存続をあきらめ、大槌SCだけが残った。	少年サッカーニュース (平成23年5月2日)
剣道	大槌剣道スポーツ少年団	・大槌町内の道場は被災したり避難所となったため、釜石高校剣道部に合同練習を申し込んだ。津波で流された防具や胴着は北上市の道場が支援した。	岩手日報 (平成23年4月17日)
相撲	大槌相撲クラブ	・栃ノ海杯少年相撲大会に大槌中学の生徒とともに参加した。	陸奥新報 (平成23年8月31日)
囲碁	日本棋院大槌支部	・大槌駅徒歩2分程度であるため建物は全壊しているものと想定される	インターネットによる調査

⑥支援状況

- 多様な団体が支援活動を展開している

教育系支援団体の活動状況

名称	震災以前の活動内容	活動内容
グッドネーバース・ジャパン	・途上国での子ども支援	・育児保育 ・鮭プロジェクト支援 ・お茶っ子隊支援
岩手県青年国際交流機構	・青年の国際交流	・仮設住宅での縁側カフェなどを通じた交流の場の創出 ・援助物資の運搬
ねおす札幌	・自然体験、エコツアー ム	・遊びを通じた子供のメンタルケア ・子供のお守り
日本ユニセフ協会	・学校教育 ・衛生環境整備 ・子供権利保護	・保育園等の建設、修繕 ・物資の供給 ・子供の意見ヒアリング場の支援
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	・紛争地域での子供の教育支援 ・自治体での子供参加の仕組みづくり	・学童設置支援 ・小学校の給食支援 ・バスの提供

II. 福島県相馬市

基礎情報

- 以下の項目について、基礎的な情報として報告する

①人口分布、地理

- 人口分布、広域地図

②産業構造

- 産業別従業員数、平均年収、雇用の状況

③被害状況

- 死亡者数、行方不明者数、避難者数
- 住宅被害数、浸水エリア、被災率、避難所数、原発事故の影響

④行政

- 行政の取り組み

⑤教育状況

- 学校数、生徒数、教員数、通学バスの状況、課外活動

⑥支援状況

- 教育系支援団体の活動状況

①人口分布、地理

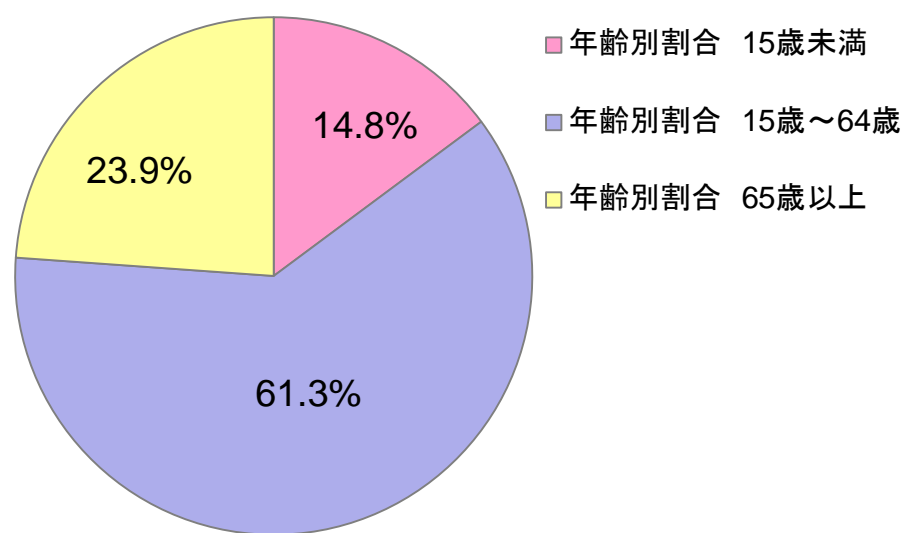
- 年齢別割合をみると、全国平均に比べ、やや高齢化が目立つ
(65歳以上の人口の割合が、全国平均が20.1%に対し、相馬市は23.9%)

人口分布(平成22年)※1

人口:37,817人

年齢別人口、割合(平成17年)

人口(全体)	15歳未満人口	15~64歳人口	65歳以上人口
38,630	5,728	23,681	9,221



相馬市広域地図※2

国土地理院承認 平14総複 第149号



福島県

資料:国勢調査平成22年度版(※1)
資料:国土地理院データを参照(※2)

②産業構造(1/3)

- 相馬市の第1次、第2次産業別従業者数は、全国平均に比べて、やや高い水準にある
- 平均年収は、福島県市町村平均とほぼ変わらない水準である

産業大分類別従業者数(震災前:平成21年)※1

	第1次産業 従業者数	第2次産業 従業者数	第3次産業 従業者数
従業者数(数)	214	6,776	10,753
割合(相馬)	0.01	0.38	0.61
割合(全国)	0.01	0.23	0.77
特化係数 (相馬/全国)	1.96	1.69	0.79

雇用関連データ(震災前:平成20年度)※2

- 相馬市平均年収: 272 万円
(一人当たり市町村所得)
- 福島県市町村平均
平均年収: 274 万円
(一人当たり市町村所得)

資料:統計局「東日本太平洋岸地域のデータ及び被災関係データ～「社会・人口統計体系(統計でみる都道府県・市区町村)」より～」(※1)

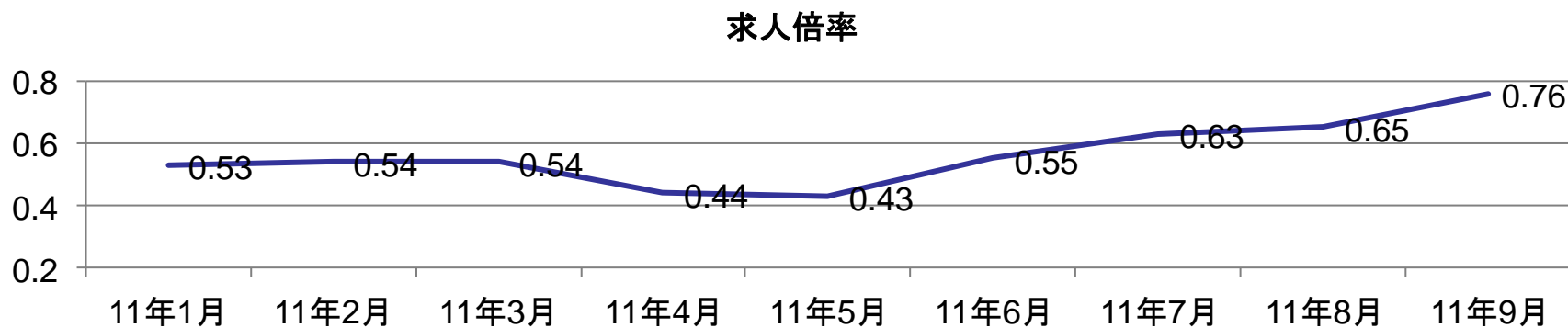
資料:「平成20年度 福島県市町村民経済計算の概要」(※2)

②産業構造(2/3)

- 求人倍率は震災後2ヶ月頃からゆるやかに上昇。震災以前より0.23ポイントほど増加し、全国平均、福島県平均よりも高い値になっている

雇用関連データ

- 求人倍率：0.76 倍（平成23年9月）
（相双安定所：管轄に相馬市、南相馬市、双葉町などを含む）



- 全国求人倍率：0.67 倍（平成23年9月）
- 福島県求人倍率：0.68 倍（平成23年9月）

資料：福島労働局「一般職業状況(8月分)」(9月30日時点)

②産業構造(3/3)

- 求人倍率の増加は、がれき撤去や小売業の再開による求人等、震災に関連した産業における求人増が関連していると思われる

求人数の増加

	平成22年度	平成23年度	対前年度比	求人増の理由
建設業	648	1,410	218.8%	がれき撤去等、震災関連の求人増
サービス業	517	737	138.3%	工事の警備員等の求人増
卸・小売業	755	783	108.9%	小売・外食産業の再開による求人増
宿泊業・飲食サービス	367	497	117.5%	

③被害状況(1/3)

人的被害(下段は対震災前人口比を示す)

	相馬市	大槌町	陸前高田市	石巻市	気仙沼市
死亡者数	456人 ※2011/10/11時点	802人 ※2011/10/11時点	1,554人 ※2011/10/11時点	3,175人 ※2011/10/11時点	1,027人 ※2011/10/11時点
	(1.20%)	(5.25%)	(6.67%)	(1.98%)	(1.40%)
行方不明者数	3人 ※2011/10/11時点	551人 ※2011/10/11時点	385人 ※2011/10/11時点	717人 ※2011/10/11時点	377人 ※2011/10/11時点
	(0.01%)	(3.61%)	(1.65%)	(0.45%)	(0.51%)
避難者数	0人 ※2011/10/9時点	0人 ※2011/8/12時点	0人 ※2011/8/14時点	0人 ※2011/10/11時点	58人 ※2011/10/31時点
	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)

資料:死亡者数/行方不明者数:統計局「東日本太平洋岸地域のデータ及び被災関係データ ~「社会・人口統計体系(統計でみる都道府県・市区町村)」より~」
避難者数:福島県HP「避難者受入状況一覧表」(2011/10/16)

③被害状況(2/3)

- 沿岸部の浸水が目立つ。

建物被害

	相馬市	大槌町	陸前高田市	石巻市	気仙沼市
住宅被害数 (全壊住家数)	1,049 棟 ※2011/10/11時点	3,092 棟 ※2011/10/11時点	3,159 棟 ※2011/10/11時点	20,005 棟 ※2011/10/11時点	8,536 棟 ※2011/10/11時点
住宅被害数 (半壊住家数)	643 棟 ※2011/10/11時点	625 棟 ※2011/10/11時点	182 棟 ※2011/10/11時点	4,014 棟 ※2011/10/11時点	2,405 棟 ※2011/10/11時点
住宅被害数 (一部破損住家数)	3,092 棟 ※2011/10/11時点	161 棟 ※2011/10/11時点	27 棟 ※2011/10/11時点	9,297 棟 ※2011/10/11時点	3,488 棟 ※2011/10/11時点
浸水エリア	29 km ² ※2011/4/18時点	4 km ² ※2011/4/18時点	13 km ² ※2011/4/18時点	73 km ² ※2011/4/18時点	18 km ² ※2011/4/18時点
被災率 (浸水範囲概況の 割合)	27.6% (人口ベース) 23.2% (世帯ベース)	78.0% (人口ベース) 81.3% (世帯ベース)	71.4% (人口ベース) 71.7% (世帯ベース)	69.9% (人口ベース) 72.9% (世帯ベース)	54.9% (人口ベース) 54.9% (世帯ベース)
避難所数	0 箇所 ※2011/10/9時点	0 箇所 ※2011/8/11時点	0 箇所 ※2011/8/14時点	0箇所 ※2011/10/31時点	4箇所 ※2011/10/31時点

資料：住宅関連：統計局「東日本太平洋岸地域のデータ及び被災関係データ ～「社会・人口統計体系(統計でみる都道府県・市区町村)」より～」

浸水率：統計局「浸水範囲概況にかかる人口・世帯数」(4月25日)

避難所数：岩手日報記事(8月12日)、陸前高田市HP「陸前高田市の被害状況について」8月14日時点

宮城震災被害情報HP「地震被害等及び避難状況」(9月14日17時取りまとめ)、福島県HP「避難者受入状況一覧表」(2011/10/16)

③被害状況(3/3)

- 原発事故の影響で避難するなど減少した人数は、現状ではそれほど多くはない

相馬市の福島第一原発からの距離

- 福島第一原発から相馬市中心部までの距離は約40kmである



資料: 相馬市HP
南相馬市HP

人口変化の現状

- 震災前と比べた相馬市の人口減少率は3%である(2011年10月)
- しかし原発の問題が長引けば、相馬市から避難する人が増加する懸念がある
- (参考)南相馬市では人口71,556人のうち23,672人は市外避難している。(11月10日現在)

④行政

- 相馬市復興計画を策定し、良好な教育環境を提供することを計画化した

行政の取組(教育関連)

- ①被災した子どものPTSD(心的外傷後ストレス障害)対策
 - カウンセリングの強化
 - 特定非営利活動法人相馬フォロアーチームとの協働
- ②震災孤児・遺児に対する支援
 - 震災孤児等支援金を支給
 - 相馬市教育復興子育て基金の設立
 - 募金活動の実施
- ③児童・生徒の学力向上
 - 学力向上のための取り組みを検討、実施
- ④復興イベント開催及び運動施設の利用
 - スポーツを通じた地域交流
 - スポーツイベントの実施

⑤教育状況(1/3)

- 学校数、児童数、教員数に大きな変化はない

震災前後の教育状況

大項目	小項目	震災による影響(ヒアリングベース)
学校数	小学校	変化なし。(大野小学校、山上小学校、玉野小学校、八幡小学校、中村第一小学校、中村第二小学校、桜丘小学校、飯豊小学校、磯部小学校、日立木小学校の10校)
	中学校	変化なし。(玉野中学校、中村第一中学校、中村第二中学校、磯部中学校、向陽中学校の5校)
	高等学校	変化なし。(相馬高校、相馬東高校の2校)
生徒・児童数	小学校	全体として、若干減少傾向。震災直後以降はほとんど変化なし。 ただし、沿岸部の磯部小学校では震災直後より児童数が3割減少している
	中学校	全体として、若干減少傾向。震災直後以降はほとんど変化なし。 ただし、沿岸部の磯部中学校では震災直後より生徒数が3割弱程度減少している
	高等学校	相馬高校では来年度の定員を、今年度より40名減らした160名に設定している
教員数	小学校	大きな変化は見られない
	中学校	大きな変化は見られない
	高等学校	確認はできず

資料: 相馬市の教育状況調査委ヒアリング結果
相馬市児童生徒在籍数の変化(相馬市教育委員会資料)

⑤教育状況(2/3)

- 通学バスは朝夕数回ずつ利用できる。
- 特に小学生のいる家庭では、自家用車での送迎をしている場合も多い

交通手段-通学バス

■東部方面(中村二小、中村二中)

朝(市内→学校): 3便運行

帰り(学校→市内): 3便運行(14時、16時、18時)

■磯部方面(磯部幼稚園、磯部小、磯部中)

朝(市内→学校): 2便運行

朝(瀬庭地区→学校): 1便運行

帰り(学校→市内): 3便運行(12時半、16時半、18時)

帰り(学校→瀬庭地区): 1便運行

※文化祭等の行事の際は、一部バスの時間を変更している

※福島交通、相馬市のバスが運行している。通学バスは無料

※車を持っている保護者も多く、保護者が送り迎えをしているケースも多い

⑤教育状況(3/3)

- 震災の影響で、道具類が用意できないことがあった
- 外部からの支援などで、一部補充され、活動が再開できたところもある

主要な活動団体

活動分野	団体名	被害状況や震災後の活動状況
ミニバス	・相馬ミニバスケットボール スポーツ少年団	ユニフォームなどが津波で流されてしまったが、支援により試合等ができるようになった
サッカー	・相馬SC ・相馬サザンFC ・エステーラ相馬	多くの生徒が被災したが、活動は継続中である
野球	・愛宕ビクトリーズスポーツ少年団 ・桜丘ブラック・タイガーススポーツ少年団 ・レッド・イーグルススポーツ少年団 ・大野ジュニアドラゴンズスポーツ少年団 ・飯豊ゴールデン・ジャガーズスポーツ少年団	活動休止に追い込まれたチームがあるが、再開しているチームもある

資料: インターネットによる調査

⑥支援状況

- ボランティアマッチングやイベントなどを行っている団体はあるが、教育支援に特化した団体はない

教育系支援団体の活動状況

名称	震災以前の活動内容	活動内容
走馬会	・環境整備活動を行っていたボランティア団体が、震災を機に震災ボランティアとして活動を開始した	・キッズキャンプ、イベント企画 ・がれき撤去 ・ボランティア受け入れ ・通学路等の放射線量測定
(社)相馬青年会議所	・イベント、地域の掃除、青少年交流事業	・情報交換、情報発信、イベント
相馬市生活復興ボランティアセンター	・元災害ボランティアセンター	・ボランティア受け入れ
はげっ子倶楽部	・自然教育	・物資輸送など

資料：HPより抜粋
相馬市ヒアリング結果